

ベトナム社会主義共和国 Socialist Republic of Vietnam

作成日：2020年10月9日

■ 開発計画等

ベトナムは安定した経済成長に伴い、急激に都市開発が進んでいる。都市部ではビルの建設ラッシュや交通量の増加などにぎわいを見せているが、同時に、交通渋滞や大気汚染、廃棄物処理などの問題も深刻化している。ベトナム政府はこれらの問題を解決し、さらなる経済成長と生活の質の向上を目指すため、情報通信技術（ICT）を活用したスマートシティ構想を掲げている。地場企業や外資系企業は、政府の構想を念頭に置き、スマートシティ開発に係るビジネスチャンスを模索している様子である。

出典：JETRO 地域分析レポート, 2019年8月より抜粋

➤ 社会経済発展 10 か年戦略（2011～2020 年）

「社会経済発展 10 か年戦略（2011-20 年）」（SEDS 2011-20）とは、2011年1月の第11回共産党大会で採択された共産党文書であり、今後10年間の社会経済開発に関する指針を示す重要な文書である。主な内容は以下のとおり。

（1）発展方針

- 持続的な発展と短期間での成長
- 社会主義ベトナム建設のための経済・政治面での革新
- 民主主義の実践と人的要素の最大化
- 生産力強化、科学技術の向上、社会主義志向型市場経済体制の向上
- 国際参入の中での自立した経済の形成

（2）主な全体目標

- 2020年までに工業国化達成、政治的及び社会的安定の維持、人々の物理的及び精神的な生活の向上、独立・領土の保全、国際社会における地位向上

（3）主な経済指標

- 2010-20年の年率平均経済成長率：7-8%
- 2020年の名目一人当たりGDP：3,000米ドル
- 2020年の名目一人当たりGDP：3,000米ドル
- 2020年の産業構造（対GDP比）：鉱工業・サービス業が85%、うちハイテク産業が45%
- 2020年の農業人口は総労働人口の30-35%

（4）主な社会指標

- 人口増加率：1.0%（年率）、2020年の平均寿命向上（75歳）、2020年には国民皆保険の達成
- 2020年の訓練済みの労働者の割合：70%以上
- 貧困削減率（年率1.5-2%）、地域間・民族間の格差是正

（5）主な環境指標

- 2020年の森林被覆率：45%
- 2020年までに全国民の清潔かつ安全な水へのアクセス普及

- 気候変動，特に海面上昇への積極的対応

(6)「3つの突破口」

- 上記目標の達成には;
 - ① 社会主義志向型市場経済体制の構築
 - ② 人的資源の開発
 - ③ (特に交通・都市) インフラの整備，が「突破口」となる。

参照：在ベトナム日本大使館 HP より

➤ ベトナム持続的な開発戦略（2011年～2020年）

ベトナム国は持続的で効果的な開発は、社会的進歩、平等、環境保全などとともに達成されるべきものという考えの下、2012年4月に本戦略を採択した。より具体的な目標として、成長モデルをより調和のとれた形に変えていくこと、グリーン成長や低炭素経済開発に向けた取り組みを行うこと、経済活動が環境に与える負の影響を緩和すること、効果的に気候変動、特に海水位の上昇に対応していくことなどを掲げている。

上述の考えの下、本戦略の期間である2011年～2020年までの間に、持続的な開発が行われているかどうかを監督・評価するための目標として、全般、経済、社会、自然資源と環境の各分野について、以下の項目が挙げられています：

- 全般：グリーン GDP、人間開発指数、環境持続可能性指数、
- 経済：GDP の単位ごとのエネルギー消費量削減割合、エネルギー消費構造に占める再生可能エネルギーの割合など
- 社会：貧困率や失業率など
- 自然資源と環境：森林被覆率、地下及び表層水の減少率、環境基準や関連技術基準を満たす固形廃棄物や排水処理設備をもつ都市部・工業パーク・加工ゾーン・産業クラスターの割合など

また、2011年から2020年における持続的な開発のための優先項目を経済、社会、資源と環境の各分野において以下の項目を掲げています。

- 経済：グリーン経済モデルの開発・実施し低炭素経済開発を確かなものにする、クリーンで再生可能なエネルギーを開発しエネルギー安全保障を確かなものにする、専門的な体制・環境に優しい技術・設備により工業セクターの持続的な開発を進める、産業汚染に対処しグリーン産業を開発する、環境にやさしいセクター・技術・製品の開発を優先する、持続的な生産・消費に取り組むために、クリーンな生産の応用を強化し、自然資源、物質、エネルギーや水の使用の効率性を上げつつ、排出量や汚染率を減少させ環境及び人々の健康を守ること
- 社会面：都市ネットワークモデルに向けて都市システムを徐々に開発していくことやエネルギー使用を抑えることなど
- 資源と環境：水環境の保全や水資源の持続的な使用を進める、水資源管理の有効性を高める、河川流、水源や地下水に関する統括管理のプログラムやプロジェクトを開発・実施する、都市部や工業パークにおいて排水回収・処理システムの開発を推進する、農業活動から出る排水処理対策に取り組む、森林保全と開発、大都市部や工業パークにおける大気汚染や騒音の削減、効果的な固形及び有毒廃棄物管理（管理効率を上げる、固形廃棄物放出の削減、ゴミの埋め立ての軽減、固形廃棄物管理システムを開発し先進的

な技術で固形廃棄物が分類、回収、再利用、更新されるようにする)、生物多様性の保全、気候変動への適用、自然災害の防止など

参照 : Viet Nam Sustainable Development Strategy for 2011-2020

➤ **ベトナム国家気候変動戦略**

2011年12月に採択されたベトナム国家気候変動戦略は、ベトナムにおける気候変動・海水位上昇におけるシナリオとともに長期的なビジョンを提示し、他の戦略の基盤となることを目的として策定された。

気候変動シナリオに関して :

- ベトナムは、この50年間で平均気温が0.5-0.7度上昇し、海水位も20cm上昇した。ベトナムは気候変動により最も影響を受ける国の一つであり、メコンデルタは海水位の上昇に対して世界で最も脆弱なデルタの一つであると考えられています。
- 21世紀後半における気候変動シナリオとして以下が述べられている :
 - ✓ ベトナムの年平均気温は2から3度上昇
 - ✓ 年間総季節的降雨量は増加する一方、乾季の降雨量は減少
 - ✓ 1980年から1999年の期間と比較して、海水位は75cmから1m上昇しうる。もし海水位が1m上昇すると40%のメコンデルタ地域、11%の红河デルタ地域及び3%の海岸にある省が水没する(なお、ホーチミン市の20%が洪水になると想定)。
 - ✓ ベトナムの人口の10-12%が直接的に影響を受け、国家GDPの約10%が失われる。

戦略の総合目標として以下2点が掲げられている :

- 人々の安全及び資産を守り持続的な開発を進めていくために気候変動への適応及び温室効果ガス排出量の削減対策を国の全能力を活用して同時に取り組むこと。
- 人々及び自然システムの気候変動への適応能力を強化し、生活の質を確保し改善していくために、また地球規模の気候変動という文脈の中で国家の安全及び持続的な開発を保障するために、そして地球の気候体系保護の観点から国際社会と積極的に協働するために、低炭素経済開発を行っていくこと。

戦略的課題として、次の8項目が提示されている :

- 自然災害や気候モニタリングを積極的に対処していくこと
- 食糧安全保障及び水資源を保障すること
- 脆弱な地域の状況に合わせて海水位の上昇に積極的に対応すること
- 森林を持続的に保護・開発し、温室効果ガスの吸収を増加させ生物多様性を守る
- 地球の気候を守るため温室効果ガス排出量を削減する(新、再生エネルギーの開発 ; エネルギーの節約及び効果的な使用、廃棄物管理など)
- 気候変動に対応する国家の重要な役割を強化すること
- 気候変動に効果的に対処するコミュニティを構築する
- 応用科学及び技術を開発し気候変動に対処する

2011 年以降期間を区切り、戦略の実施方針が提示されている。

- 2013 年から 2025 年の期間：2025 年以降に希望通りの近代工業国になることを目的としつつ、ベトナムは地球規模の気候システムを守るために温室効果ガス排出量削減に特別な注意を払う。気候変動に適應するまた温室効果ガス排出量を削減するベトナムの活動は社会経済開発と共に実施される
- 2026 年から 2050 年の期間：ベトナムは既に近代産業国となっており、それゆえに、温室効果ガス排出量の削減は社会経済開発活動における基準とならなければならない。戦略的な課題は、気候変動に抵抗・適應しうる低炭素経済を構築・確立するための新しい開発方針に合わせて、確認され、調整され、補完される

参照：National strategy on climate change（ベトナム政府ポータル）

➤ 2050 年に向けたビジョンを持ったグリーン成長戦略（2011-2020）

グリーン成長は迅速かつ効率的で持続的な成長の重要な一部であり、国家気候変動戦略の実施に大きく貢献する。グリーン成長は自然資本の保護・開発・効果的な使用への投資の増加、温室効果ガスの削減、環境の質の改善、これらによる経済成長の促進につながらなければならない、とされており、ベトナムに適した科学や現代科学技術をもとに進められなければならないとされている。

本戦略の大目標は、グリーン成長は低炭素経済の達成かつ自然資本を強化する手段であり、持続的な経済開発が向かっていく方向とすることである。温室効果ガスの削減及びその吸収能力の増加は徐々に必須かつ重要な社会・経済開発における指標となっている。

戦略的課題として、以下の 3 点が掲げられている：

- 温室効果ガス排出量強度を削減し、以下の目標に沿ってクリーンで再生可能なエネルギーの使用を促進する：
 - ✓ 2011 年から 2020 年の期間において：2010 年の水準と比較して温室効果ガスの排出強度を 8 から 10%削減する； GDP のユニットごとのエネルギー消費量を毎年 1 から 1.5%削減する。エネルギー活動からの温室効果ガス排出量を通常通りの業務のケースと比較して 10 から 20%削減する。この目標は自発的な削減である約 10%及び国際支援による削減である 10%を含む。
 - ✓ 2030 年への方向付けとして：年間温室効果ガス排出量を少なくとも 1.5 から 2%削減する； エネルギー活動における温室効果ガス排出量を通常通りの業務のケースと比較して 20 から 30%削減する。この目標のうち、自発的削減は約 20%であり、10%は国際支援によるものとなる。
 - ✓ 2050 年への方向付け：毎年 1.5 から 2%の温室効果ガスを削減する。
- グリーン生産：
 - ✓ 2020 年に向けた主な目標：ハイテク及びグリーン技術が GDP の 42 から 45%を占めるようにする；環境基準を満たした商業製造施設の割合を 80%に引き上げる。クリーン技術の適用を 50%に引き上げる。環境を保護し自然資本を強化するセクターを支援する開発投資を GDP 比 3 から 4%とする。
- グリーンライフスタイル及び持続的な消費の促進：
 - ✓ 2020 年に向けた主な目標：規制基準を満たした排水回収・処理システムを持つグレード 3 の都市の比率を 60%とする； グレード 4、5 及び手工業村の 40%とする； 重度に汚染された地域の環境改善は 100%実施； 首相決裁（No.2149/QD-TTg）の基準以下で回収・処理された廃棄物の

割合； 都市の基準に届く樹木地域の割合； 大都市及び中規模都市における公共交通の割合が 35 から 45%に届く； グリーン都市基準を獲得する大・中規模都市の割合が 50%に届くことなどが掲げられている。

解決方法（ソリューション）として、エネルギー使用の有効性・効率性を改善すること、産業や運輸交通の燃料構造を変えることや持続的な都市開発など 17 つの項目が提示するとともに、2011 年から 2020 年、2021 年から 2030 年、そして 2031 年から 2050 年における活動計画を掲げている。

参照：Viet Nam National Green Growth Strategy（UNESCAP）